

V 令和6年度事業の概要

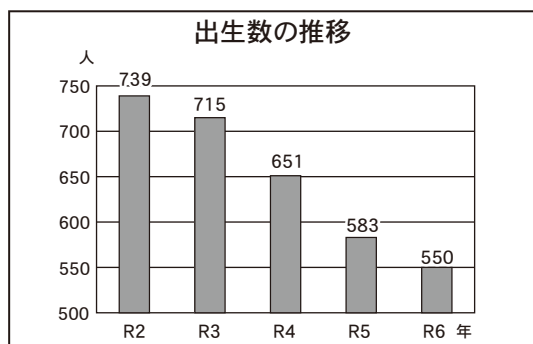
佐久市における保健予防・健康づくり事業のあゆみ

1 母子保健事業

(1) 年次別出生数の推移

年	出生数(人)
R2	739
R3	715
R4	651
R5	583
R6	550

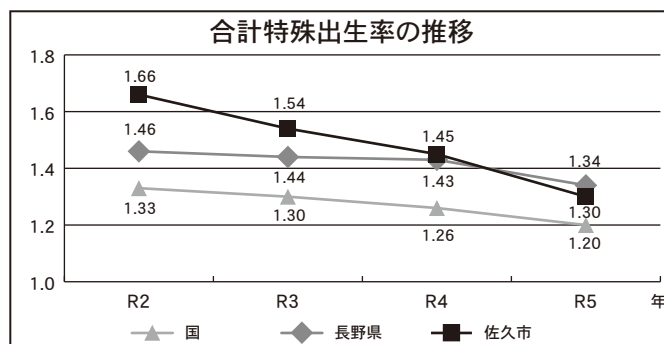
(出典：長野県毎月人口異動調査 各年1月1日現在)



(2) 合計特殊出生率*の推移 (出典：健康づくり推進課資料)

年	国	長野県	佐久市
R2	1.33	1.46	1.66
R3	1.30	1.44	1.54
R4	1.26	1.43	1.45
R5	1.20	1.34	1.30

*合計特殊出生率とは、「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、一人の女性が一生の間に何人の子供を産むのかを推計したものである。



(3) 母と子のすこやか相談室

- 相談日 本庁：月曜から金曜までの午前8時30分～午後5時
支所：月曜から金曜までの午前8時30分～12時
- 相談担当 保健師・助産師・看護師
- 相談方法 電話相談・来所による個別相談
- 来所者延べ数 4,567人
- 電話相談 1,712件
- 相談内容内訳 (複数相談あり)

妊婦保健指導…………… 580人
 出生時指導…………… 523人
 発育・発達相談…………… 1,103人
 栄養相談…………… 70人
 歯科相談…………… 2人
 育児不安…………… 10人
 健診・予防接種…………… 3,305人
 その他育児全般…………… 360人

(4) 妊娠届出状況

1) 妊娠届出者の妊娠週数別内訳 (単位：人)

届出総数	満11週以内	満12～19週	満20～27週	満28週以上	出産後	不詳
573	544	27	1	0	1	0

2) 妊娠届出者の年齢別内訳及び初妊娠者の再掲

届出者年齢	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上
人	8	28	162	218	121	36
率	1.4	4.9	28.3	38.0	21.1	6.3
うち初妊婦	8	19	101	70	39	9

(5) 出産・子育て応援交付金事業

令和5年2月1日より、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援及び経済的支援を一体として実施。

1) 伴走型相談支援

- 妊娠届出時に妊婦と、乳児家庭全戸訪問等で産婦と面談を実施
- 妊娠8か月頃のアンケートを基に、希望者と面談を実施

2) 経済的支援

- 妊娠届出時に、妊婦と面談後、妊婦1人あたり5万円（出産応援給付金）を現金給付
- 乳児家庭全戸訪問等で産婦と面談後、出生児1人当たり5万円（子育て応援給付金）を現金給付

(6) 産前学級「パパママ教室」

1) 目的 近年の核家族化や少子化に伴い、乳児とふれあう経験の少ない両親に育児に対する心構えや親の役割について学ぶ機会を提供し、やがて生まれる我が子への愛情を育む。

2) 対象 妊娠4～8か月頃の妊婦

3) 内容 平日コース（3回コースに分けて実施）

休日コース（2回コースに分けて実施）

- 平日1回目、休日前期：おなかの中の赤ちゃん、妊娠中の栄養、おなかをさわってみよう、フリートーク
- 平日2回目：おっぱいの手入れ・授乳、妊婦体操、腹帯の巻き方、フリートーク
- 平日3回目、休日後期：出産後の育児、抱っこの仕方、栄養・減塩ワンポイント、妊婦体操、おむつの仕方、沐浴について、フリートーク

4) 実施状況

	平日コース	休日コース	計
開催回数（回）	18	12	30
参加者数（人）	190	208	398
内訳：妊婦（人）	151	126	277

(7) 子育てママさんサポート事業

目的 近年、核家族化等乳幼児を取り巻く環境が大きく変化する中で、家庭や地域における養育機能が低下してきている。

本事業は、本来子どもの養育について支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に過重な負担がかかる前の段階において、訪問等によ

る支援を実施することにより、当該家族において安定した子どもの養育が可能となることを目的とする。

対象者（実人数） 685名

		実件数	延件数
フォロー方法	継続訪問	124	394
	電話相談	339	1,286
	健診教室フォロー	205	397
	子育てママさん（委託）	5	6
	その他	489	1,342
医療機関等につなげた件数	医療機関	35	38
	児童相談所	14	18
	助産所	3	6
	保健所	1	1
	保育園等	67	79

※重複あり

●対象別の保健指導・訪問指導件数

	妊婦		産婦		乳児		幼児		その他	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
保健指導	10	29	44	235	51	202	431	1,492	136	600
訪問指導	6	6	19	59	27	53	40	135	31	130

(8) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）・産婦訪問指導事業

1) 対象者 新生児（乳児を含む） 全戸

2) 訪問担当者 保健師・助産師

3) 実施状況

新生児・乳幼児訪問件数	527
-------------	-----

(再掲)

医療機関からの紹介 (その内訪問件数)	186
他市町村への依頼	13

紹介内容（重複あり）

項目	数	項目	数	項目	数
低出生体重児	41	多呼吸	1	家庭環境・育児不安	45
多胎	14	胎便吸引症候群	1	心室中隔欠損	1
呼吸障害	17	高ビリルビン血症	1	母 外国人	9
早産	29	若年初産婦	4	母 精神科既往あり	25
胎児仮死	1	除脈	0	妊婦B型肝炎	0
低血糖	5	黄疸	33	その他	96
				合計	323

(9) 産後ケア事業

目的 出産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。

1) アウトリーチ型

①対象 出産後生まれた子がおおむね1歳6か月になるまでの母子

②実績 人数 78人

延人数 99人 (1回目 70人、2回目 29人)

申請理由として最も多かったのは「授乳・乳房ケア」で54件、次に多かったのが「身体的な不調や回復の遅れ」で24件だった。

2) ショートステイ型

①対象 出産後生まれた子が1歳になるまでの母子

②実績 実人数 36人

延日数 205日 (一人あたり平均5.7日)

申請理由として多いのは、「身体的回復」であり、続いて「サポート不足」「育児手技の獲得」となっている。

(10) 離乳食教室「はい あーんして」

1) 目的 子育てについてのさまざまな情報が発信される中で、離乳食の進め方、作り方、与え方等に不安を持つ保護者が増えている。講義やすりつぶし体験を通し、安心して離乳食づくりができるよう、支援する。

2) 対象者 生後3～4か月頃の児を持つ家族・希望者

3) 内容 ・離乳食作り、進め方についての講義
・すりつぶし体験 ・手遊び紹介 ・個別相談

4) 実施状況 開催回数…………… 29回

参加者数…………… 345人

(11) 離乳食教室「もぐもぐできるかな」

1) 目的 離乳食の試食を通して形態や食材などの進み具合を確認し、今後の離乳食の進め方について支援する。

2) 対象者 生後8～9か月の児とその家族

3) 内容 ・個別相談、試食 ・手遊び紹介

4) 実施状況 開催回数…………… 30回

参加者数…………… 228人

(12) 乳幼児健診の状況

※対象児数：今年度対象生年月日に該当する児の数

受診児数：今年度受診した児の数（前年度対象だが今年度受診した児を含める）

1) 乳児健診の受診状況

	対象児数	受診児数 (うち市外受診者)	未受診児数	受診率 (%)	異常あり (市外受診者除く)	有所見率 (%) (市外受診者除く)
4か月児	561	557 (0)	6	99.3%	225	40.4%
10か月児	557	545 (1)	9	97.8%	220	40.4%

2) 乳児健診有所見者の状況

○4か月児健診有所見者内訳

(単位：人)

所見内訳	身体的発達異常	精神発達	運動機能障害	視覚	聴覚	その他神経系感覚器の異常	血液疾患	皮膚疾患	循環器系疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	泌尿生殖器系疾患	先天異常	生活習慣上の問題	育児環境	その他	合計
総数	55	0	155	5	8	1	0	58	5	0	0	10	8	0	10	0	315
要観察	35	0	8	1	1	0	0	7	0	0	0	0	1	0	10	0	63
要精検	8	0	142	2	4	0	0	7	0	0	0	0	1	0	0	0	164
要治療	0	0	2	1	0	0	0	7	0	0	0	2	0	0	0	0	12
治療継続	12	0	3	1	3	1	0	37	5	0	0	8	6	0	0	0	76

※重複あり

○10か月児健診有所見者内訳

(単位：人)

所見内訳	身体的発達異常	精神発達	言語発達	熱性けいれん	運動機能障害	視覚	聴覚	その他神経系感覚器の異常	血液疾患	皮膚疾患	循環器系疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	泌尿生殖器系疾患	先天異常	生活習慣上の問題	情緒行動	育児環境	その他	合計
総数	123	0	0	0	193	2	0	1	0	37	4	0	1	34	1	0	0	1	2	399
要観察	99	0	0	0	93	0	0	0	0	2	1	0	0	21	0	0	0	1	0	217
要精検	11	0	0	0	90	2	0	1	0	5	1	0	0	10	0	0	0	0	1	121
要治療	2	0	0	0	3	0	0	0	0	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	12
治療継続	11	0	0	0	7	0	0	0	0	25	1	0	1	2	1	0	0	0	1	49

※重複あり

3) 1歳6か月児健診受診状況

未受診者へのハガキや電話による受診勧奨を行い、受診率の向上を図る。

対象児数	受診児数 (うち市外受診者)	未受診児数	受診率 (%)	異常あり (市外受診者除く)	有所見率 (%) (市外受診者除く)
633	614 (1)	8	97.0%	303	49.3%

4) 1歳6か月児健診有所見者状況

○1歳6か月児健診有所見者内訳

(単位：人)

所見内訳	身体的発達異常	精神発達	言語発達	熱性けいれん	運動機能障害	視覚	聴覚	その他神経系センサーの異常	血液疾患	皮膚疾患	循環器系疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	泌尿生殖器系疾患	先天異常	生活習慣上の問題	情緒行動	育児環境	その他	合計
総数	68	239	52	0	3	3	1	1	0	45	2	1	6	33	1	0	66	1	34	556
要観察	45	199	44	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	15	0	0	58	1	29	396
要精検	9	36	7	0	1	2	1	0	0	3	1	0	0	10	0	0	8	0	2	80
要治療	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	7
治療継続	14	4	0	0	1	1	0	1	0	34	1	0	6	7	1	0	0	0	3	73

※重複あり

5) 1歳6か月児健診医療機関紹介児状況

(単位：人)

所見内訳	低身長・身長3p以下	体重増加不良・低体重	頭囲大・頭囲拡大	その他発育所見	運動発達遅滞	言語発達遅滞	精神発達遅滞	その他発達遅滞	○脚・X脚	その他整形的所見	皮膚所見	耳鼻咽喉所見	心臓所見	停留精巣・移動精巣	その他泌尿器所見	食物アレルギー	その他	合計
総数	1	0	4	0	0	1	0	1	1	0	4	1	1	10	0	0	3	27
要治療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
要観察	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	9
異常なし	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
返書なし	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	5	0	0	3	13

6) 3歳児健診受診状況

これまで未受診であった児が今年度の健診に参加し、本来の対象児よりも受診児が多くなったため、受診率が100%を超える結果となった。

対象児数	受診児数 (うち市外受診者)	未受診児数	受診率(%)	異常あり (市外受診者除く)	有所見率(%) (市外受診者除く)
729	741 (1)	8	101.5%	423	57.1%

7) 3歳児健診有所見状況

(単位：人)

所見内訳	身体的発達異常	精神発達	言語発達	熱性けいれん	運動機能障害	視覚	聴覚	その他神経系センサーの異常	血液疾患	皮膚疾患	循環器系疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	泌尿生殖器系疾患	先天異常	生活習慣上の問題	情緒行動	育児環境	その他	合計
総数	77	12	394	0	0	76	1	0	0	19	2	0	3	192	1	4	17	7	72	877
要観察	48	6	383	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	166	1	4	16	7	60	692
要精検	13	2	9	0	0	71	0	0	0	1	0	0	0	20	0	0	0	0	1	117
要治療	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
治療継続	16	3	2	0	0	5	1	0	0	13	2	0	3	6	0	0	1	0	10	62

※重複あり

8) 3歳児健診医療機関紹介児状況

(単位：人)

所見内訳	低身長・身長3P以下	体重増加不良	頭囲大・頭囲拡大	その他発育所見	運動発達遅延	言語発達	精神発達遅延	その他発達遅延	○脚・X脚	その他整形的所見	皮膚所見	耳鼻咽喉頭所見	心臓所見	停留嚥丸・移動性嚥丸	その他泌尿器所見	食物アレルギー	視力不良の疑い	屈折異常の疑い	斜視の疑い	その他眼所見	検尿結果所見	その他	合計
総数	8	1	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0	0	7	0	0	56	62	11	4	11	4	170
要治療	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	7
要観察	2	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	41	48	7	3	5	2	116
異常なし	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	0	9
返書なし	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	14	13	4	0	0	2	38

(13) 妊婦・乳児一般・産婦健康診査・新生児聴覚検査の受診状況（受診票）

月	基本健診 (1回目)	基本健診 (2回目以降)	追加検査 ①	追加検査 ②	追加検査 ③	追加検査 ④	超音波検査	旧年度	合計	月	乳児一般	産婦	新生児聴覚
	(6,360円/件)	(5,760円/件)	(17,370円/件)	(1,830円/件)	(1,550円/件)	(3,700円/件)	(4,780円/件)				(5,990円/件)	(5,000円/件)	(5,000円/件)
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数		件数	件数	件数
4	32	491	34	76	33	41	149	0	856	4	50	97	40
5	49	519	47	78	48	41	198	0	980	5	43	87	37
6	28	443	30	69	41	32	152	0	795	6	41	76	39
7	52	489	50	87	50	52	173	0	953	7	37	68	38
8	34	495	35	80	40	31	150	0	865	8	41	76	51
9	42	429	43	73	40	38	149	0	814	9	48	96	41
10	63	485	63	68	29	49	180	0	937	10	43	74	34
11	39	460	43	76	45	29	157	0	849	11	49	83	43
12	54	458	53	68	37	35	168	0	873	12	45	84	32
1	60	521	57	88	54	35	205	0	1,020	1	39	64	42
2	47	484	46	71	37	41	180	0	906	2	34	75	35
3	58	590	58	92	53	43	209	0	1,103	3	44	62	31
合計	558	5,864	559	926	507	467	2,070	0	10,951	合計	514	942	463

妊婦・乳児一般・産婦健康診査については、長野県医師会、長野県助産師会との委託契約により実施している。

乳児一般健康診査は、出生届出時に交付して「7か月児健康診査」の受診票として使用している。

(14) のびのび広場

- 1) 目的 乳幼児健診にて所見があった児に対し、児の発育・発達を確認し、育児相談や保健指導を行い、必要な親子に対しては専門相談の場や発達支援教室等につなげ、児の発達や母子愛着形成の促進を図る。
- 2) 対象者 乳幼児健診にて所見のあった児と保護者
- 2) 内容 乳幼児健診後の発育・発達の確認、育児相談、保健指導等
- 4) 実施状況 開催回数…………… 30回

参加者数…………… 127人

相談内容は、児の発達や言葉に関するものが多い。継続フォローの場としては、保育園や発達支援教室、いきいき相談、地区担当保健師が多い。

(15) いきいき相談

①心理相談

開催回数…………… 12回

相談件数…………… 32件

(うち初回相談) …………… 31件

②言語相談

開催回数…………… 14回

相談件数…………… 80件

(うち初回相談) …………… 44件

主な相談内容は言葉の相談（言葉の遅れ・発音不明瞭等）、社会性の発達（落ち着きがない、こだわりがある等）、育児の相談などである。

地区の担当保健師が相談に同席し、実施後は、必要に応じ「いきいき相談」の継続や、「元気っ子クラブ」、「療育支援センター」、「病院での発達外来の受診」等の紹介をしている。

(16) 発達支援教室「元気っ子クラブ」

- 1) 目的 幼児健診等で、心理的・社会的発達面から継続的な発達支援が必要な児及び養育姿勢や母子関係に支援が必要な保護者に対して、複数の専門スタッフが継続をして関わることにより、親子の健やかな成長を図ることを目的とする。
- 2) 対象者 おおむね1歳半～就園前の児
- 3) 内容 保健師・栄養士・保育士などが運営にあたり、言語聴覚士、作業療法士等による療育指導を含めた遊びや季節の行事などを実施。毎回テーマに合わせた話や、参加者同士のフリートーク・個別相談も行っている。教室を通し児の発達・家族支援を行う。
- 4) 実施状況 開催回数…………… 22回 ※5月より、月2回実施、台風のため1回中止。
参加延べ組数…………… 188組
参加延べ数…………… 454人

(17) 思春期・赤ちゃんふれあい体験学習

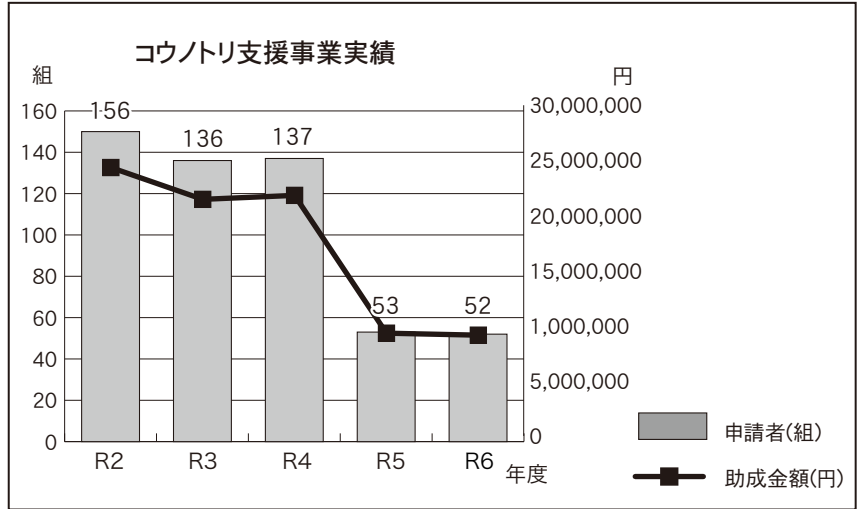
- 1) 目的 少子化が進む中、乳幼児と接する機会が少ない中学生が増えている現状がある。乳児と触れ合うことにより乳児についての理解を深め、さらに乳幼児を育てている親や助産師の話から子育ての喜びや苦勞を知り、自分を取り巻く周囲の思いに関心を持つ機会とする。また、命の大切さやいたわり、思いやりの心を育てることで母性・父性を育む。
- 2) 対象者 東中学校3年生、白田中学校3年生
- 3) 実施回数 2回
- 4) 場所 東中学校、白田中学校
- 5) 内容 新型コロナウイルス感染症の拡大のため、ふれあい体験の代替として、ライフデザイン講座を各中学校で実施。

(18) コウノトリ支援事業

保険診療適用外の不妊・不育治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るために助成金を交付する。

年度	申請者(組)	助成額(円)
R2	150	24,843,996
R3	136	21,956,836
R4	137	22,317,774
R5	53	9,815,419
R6	52	9,635,891

令和4年度から不妊治療が保険診療の適用となったため、申請件数は減少している。



(単位：人)

(単位：人)

